



育成センター

こうほう

発行元 板野東部青少年育成センター組合
 板野郡北島町中村字上地23番地1 北島町役場5階
 TEL: 698-3440 FAX: 698-8810
 相談電話: 698-8780
 E-mail: itanotobu-ikusei@mb.pikara.ne.jp

《インターネットの利用について》

育成センターでは毎年、松茂町・北島町内の小学校5年生、中学校2年生に協力してもらいインターネットの利用状況についてアンケート調査を実施しています。令和6年6月実施の結果についてご覧ください。

Q あなたは、1日何時間ぐらいインターネットを利用しますか。

回 答	小学校		中学校	
	平日	休日	平日	休日
①1時間未満	34.3%	21.7%	13.1%	3.9%
②1時間以上 3時間未満	41.6%	35.2%	59.3%	31.5%
③3時間以上 5時間未満	17.0%	23.8%	20.3%	42.6%
④5時間以上	6.2%	17.9%	6.9%	21.6%

Q あなたは、インターネットの影響で睡眠不足になったことはありますか。

回 答	小学校	中学校
①よくある	2.3%	4.6%
②ときどきある	10.0%	22.6%
③あまりない	29.0%	42.6%
④まったくない	57.2%	29.5%

一日のインターネットの利用時間は、平日に比べて休日の方が長いと回答している割合が多いことがわかります。他にインターネットの影響により睡眠不足になっている回答は多くはありませんが、生活の乱れが心配されます。本人に自覚があってもインターネットから離れられない状態になると、ネット依存の可能性があります。依存度が高くなり普段の生活に支障が出ているなら、早めに専門機関に相談するようにしましょう。インターネットを使う時間を自分で上手にコントロールできるようになることが大切です。

インターネットは便利である反面、危険も多くあります。危険なサイトやアプリの利用を制限するフィルタリングの設定や個人情報を抜き取る等の危険な作用を及ぼすウイルスへの対策を行い、安全に利用しましょう。

《リーダー養成研修会》

リーダー養成研修会は、8月1日(木)北島町役場で開催し、松茂中学校・北島中学校の2年生24人が参加してくれました。

今回は徳島県内で活躍している社会人の方から、学生の時から今の仕事を始めるまでのエピソードや中学生へ伝えたい思い等をユーモアを交えて話していただきました。その中で印象に残ったお話を紹介します。

○自分の人生は自分で決めてほしい

進学や就職は自分で選択した道を全力でやってほしいです。自分で決めたことは後悔しません。誰が見ていなくても自分に正直に生きてください。

○自分の意見を上手に伝えるために

相手に意見を求める時は候補をいくつか挙げて尋ねると、自分の考えもまとまります。大切な決断をする場面では、可能性があるものを書き出して比べてみましょう。

○人生に無駄なものはない

色々経験し、その時々を一生懸命に生きた結果が今に至ると思います。選択肢は大事で心の支えになり、考えるきっかけになります。今も自分が生きやすくするためにたくさんの選択肢を使っています。



《非行防止作文》

青少年の健全育成及び非行防止作文について、管内の中学校2年生から募集をしました。選考の結果、次のとおり入賞者が決まりました。

裏面に入賞作品の一部を掲載していますので、ご覧ください。

- | | | |
|-----|--------------------|----------------|
| 最優秀 | 「誰か、身近な人が苦しんでいること」 | 松茂中学校2年 高志 永湖 |
| | 「同じ人間」 | 北島中学校2年 北井 希美 |
| 優 秀 | 「差別意識の芽生えについて」 | 松茂中学校2年 神田 玖麗 |
| | 「SNSと人権」 | 松茂中学校2年 元木 花音 |
| | 「「いじめ」について」 | 北島中学校2年 小林 芽生奈 |
| | 「この先の自分」 | 北島中学校2年 萩原 紗希 |



令和6年度 非行防止作文 入賞作品

『SNSと人権』

松茂中学校2年 元木 花音

私が小学六年生のときです。いつものようにSNSを見ていると、たくさんのいいねがついているコメントを見つけました。そのコメントを見てみると「きもい」「ブサイク」「一生SNS使うな」という、皆が見ていていい気持ちにならないようなコメントばかりでした。私はこのようなコメントが無くなってほしいと思いました。しかし、SNSを開けるたびに、このようなコメントを目にする回数が増えました。私は、いいねがつくことはとても嬉しいけれど、このようなコメントをされるのが怖いためSNSに動画や写真をアップできません。

中学生になり、友達とのやり取りは、SNSの中のLINEを使うことが増えました。気軽なコミュニケーション方法で、いつでも連絡ができることが便利だし、スタンプを使って気持ちを表現することも楽しいです。また普段言えないこともLINEだと簡単に言えます。他にも、電話と違って、お互いの時間を合わせる必要がなく、文字として残るのであとで見返すこともできて便利です。一方で、普通の会話なら、相手の表情や声の感じで、言葉を選んだりできますが、LINEはそれができません。相手の表情が分からないので、何気ない言葉でトラブルにつながります。会話の流れも速く、ささいなことでも誤解や感情の行き違いがおきやすいです。私も相手に送った何気ない言葉を違う意味で捉えられ、スクリーンショットをされて、全く関係の無い友達に送られ、トラブルになったこともあります。

SNSは、誰もが気軽に自分の思いを投稿できたり、簡単に世の中の流れを知れたりすることが出来る良いところがある反面、一度投稿してしまったり、送信してしまったものは、自分の画面では消えていたとしても、保存されていたり、スクリーンショットされてしまう「消えることはない」という悪い面もあります。SNSの中で、不快な思いをすることや、人間関係のトラブル、さらにいじめや自殺など最悪な事態へ発展するケースも最近は少なくはないです。

私は、お互いの顔が見えなくても、悪口や根拠のない嘘を言って、他人を傷つけたりすることは絶対にしてはいけないことだと思います。SNSを使っている一人一人が「相手を尊重する」ことを忘れずに、ルールを守り、皆が見て、いい気持ちになれるコメントで、いっぱいになってほしいと思いました。

『同じ人間』

北島中学校2年 北井 希美

「うわ、外国人じゃん。」
この発言を聞いてどう思いましたか。私は口に出してまで言わなきゃいけないことなの、と思いました。この発言は差別じゃない、そう考えている人もいるかもしれません。しかし、この何気ない一言で、深く傷ついてしまう人だっているのです。

これは一ヶ月前のお話です。私はSNSを通じて、Aさんという人と仲良くなりました。Aさんとは、自分の好きなもの、趣味、特技などを共有し合い、お互いのことをより深く知ろうと、頻りに連絡をとっていました。するとある日、Aさんから一通のメッセージが届きました。そのメッセージの内容は次の通りです。

「ずっと黙っててごめんね。実はあなたに言わないといけないことがあるの。この事実を知ってしまっても、私のこと、嫌いにならないでね。実は私、『中国人』なの。」

このメッセージを見たとき、私は正直驚きました。Aさんから送られてきたメッセージの文面は毎回きちんとしていて「外国人なのでは…」とは、感じたことも思ったこともなかったからです。

Aさんは小学二年生の時に、中国から日本に引っ越してきたそうです。引っ越してきた当時も、人種差別にあうことが多々あったと話してくれました。Aさんは日本語が理解できるので、「うわ、外国人じゃん。」という何気ない一言に深く傷ついてしまいました。私は、Aさんが中国人であるという事実を知っても、Aさんを嫌いになったり避けたりすることは絶対にありません。なぜなら、『同じ人間』だからです。今でもAさんとは連絡を取り合い、親密な関係を築いています。

今回のような人種差別だけに限らず、何気ない一言で相手を傷つけてしまうということがあります。私は今回の一件で、自分の発言の一言一言に責任をもつようにしようと思いました。しかし、どんなに意識して気をつけていても、誤った発言をしてしまうこともあると思います。その時は素直に謝り、反省の誠意を見せることが大事なのではないかと思いました。

私は今後どんなことがあろうと、いじめや差別をする人間になりません。いじめや差別は、誰の得にもならないからです。

私は、今後も横との繋がりを大切に、そして友達や周りの人を大切にして、生活をしていきたいです。